

インフルエンザの流行が始まりました！

～川崎市内におけるインフルエンザ流行状況～

令和7年第40週（9月29日～10月5日）に、本市におけるインフルエンザの定点当たり患者報告数が、流行開始の目安となる1.00人を超えました。

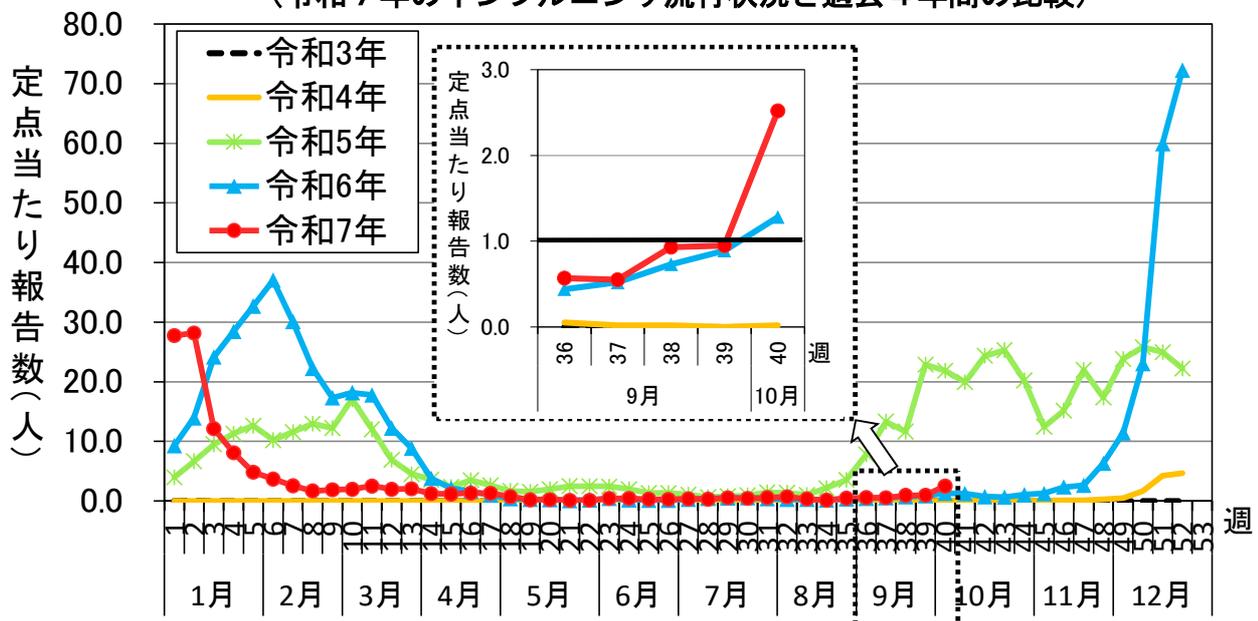
これから本格的な流行が予想されますので、インフルエンザに「かからない、うつさない」ために一人ひとりがせきエチケットや手洗い等の感染対策を心掛けましょう。

*本市で実施している感染症発生動向調査では、毎週61施設の急性呼吸器感染症定点医療機関から患者の発生状況を報告いただいています。

1 本市におけるインフルエンザ流行状況

インフルエンザの定点当たり患者報告数は、令和7年第40週（集計期間：9月29日～10月5日）に2.52人となり、流行開始の目安となる1.00人を超えました。

川崎市内におけるインフルエンザ患者報告数
(令和7年のインフルエンザ流行状況と過去4年間の比較)



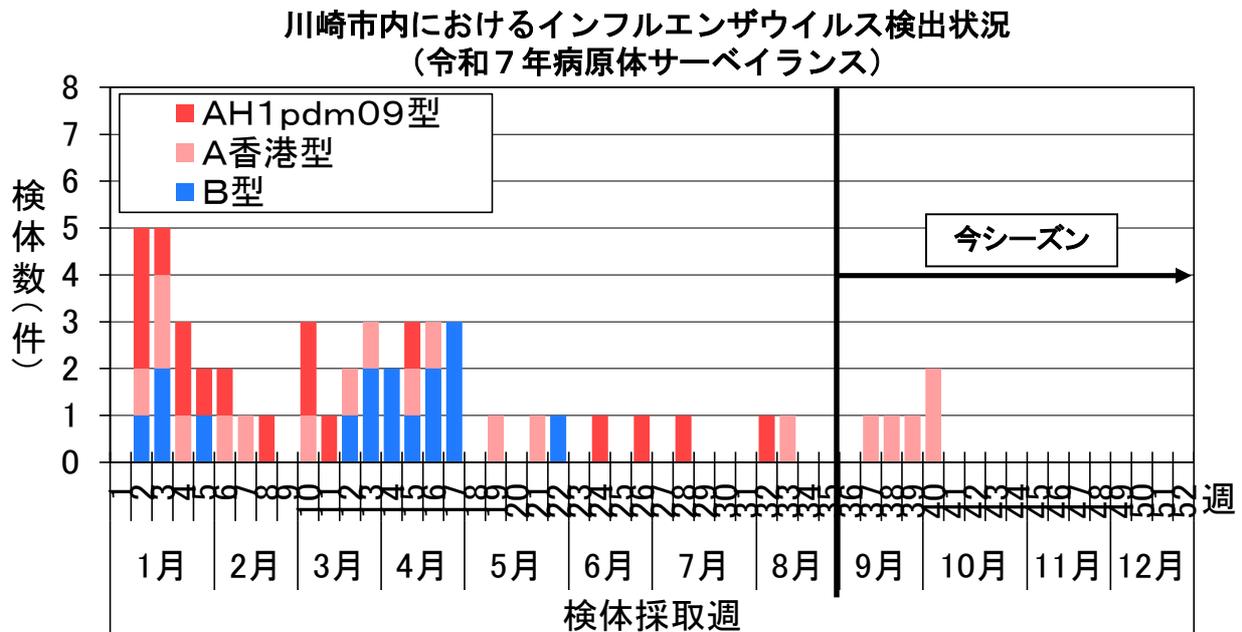
(川崎市健康安全研究所感染症情報センター担当作成)

2 本市におけるインフルエンザウイルス検出状況

感染症発生動向調査では、市内16箇所の病原体定点医療機関から検体の提供をいただき、インフルエンザウイルスの検査を行い、流行しているインフルエンザウイルスの型の把握を行っています。

今シーズンに健康安全研究所に搬入された検体のうち、5件からインフルエンザウイルスが検出されており、その内訳はA香港型が5件でした。

※令和7年10月7日結果判明分まで



(川崎市健康安全研究所感染症情報センター担当作成)

3 過去4週間の定点当たり患者報告数

第36週 (9月 1日～9月 7日): 0.57人

第37週 (9月 8日～9月14日): 0.55人

第38週 (9月15日～9月21日): 0.93人

第39週 (9月22日～9月28日): 0.95人

4 インフルエンザの予防について

- ・外出から帰ったら、必ず、手洗いをしましょう
- ・人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう
- ・ワクチン接種を受けましょう
- ・空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう
- ・不要不急のときはなるべく人混みへの外出は避けましょう

《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健医療政策部

感染症対策課 吉川

電話 044-200-2446

ウイルスを撃退して

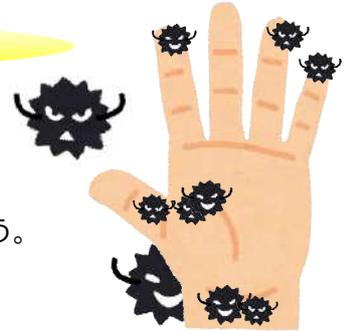
インフルエンザを予防しましょう！

川崎市内でインフルエンザの流行が始まりました。

インフルエンザに「かからない、うつさない」ために、正しい衛生習慣を身につけましょう。

外出から帰ったら、必ず、手洗いをしましょう

- ◆ ウイルスは目に見えないため、どこについているかわかりません。外出したら、必ず石けんで手洗いをしましょう。
- ◆ 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- ◆ 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。



人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう

- ◆ せきやくしゃみが出たら、
 - ・他の人にうつさないようにマスクを着用しましょう。（口だけでなく鼻もおおきましょう）
 - ・マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおきましょう。
- ◆ せきやくしゃみを手でおおったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。
- ◆ 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱にすてましょう。



マスクは正しく着用しましょう！

ワクチン接種を受けましょう



- ◆ インフルエンザにかかった場合の発症又は重症化を防ぐ効果が期待できます。接種から2～3週間で効果が現れますので、まだ受けていない方はできるだけ早い接種をおすすめします。

空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう

- ◆ 部屋は適切な湿度を保つようにしましょう。（湿度50%～60%程度）
- ◆ 定期的に換気をよく行いましょう。
- ◆ 十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。



なるべく人混みへの外出は避けましょう



- ◆ インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ◆ 発熱や関節痛等のインフルエンザが疑われる症状があるときは、無理をして学校や職場には行かず、早めに医療機関を受診しましょう。